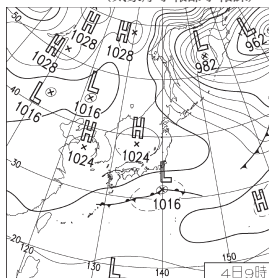


日々の天気図

— No. 85

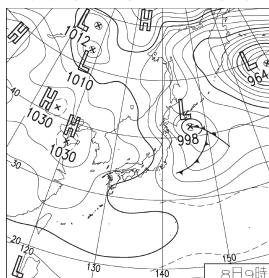
2009年2月

- ・8日、冬型気圧配置が強まり栃木県那須町34.2 m/sの最大瞬間風速。
- ・13日～14日、低気圧や前線の影響で高知県馬路村128 mm、静岡県伊豆市110.5 mmの日降水量。
- ・20日～21日、発達した低気圧の影響で北海道羅臼町41.1 m/s、青森県外ヶ浜町40.8 m/sの最大瞬間風速。
(気象庁予報部予報課)



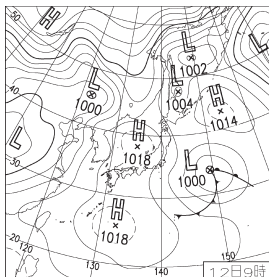
4日(水) 知床半島に流水着岸

日本付近は次第に移動性高気圧に覆われたが、関東や山陰は高気圧の南縁で曇り、その他は概ね晴れ。立春の今日、日中の気温は2月下旬～3月下旬並。大分市でウグイス初鳴



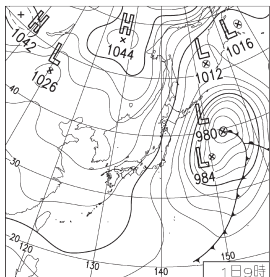
8日(日) 強風吹き荒れる

寒冷前線通過後、北～東日本で冬型の気圧配置が強まり、北日本は吹雪。関東北部や東北部は非常に強い風となり、栃木県那須町で最大瞬間風速34.2 m/s、西日本は穏やかな晴れ。



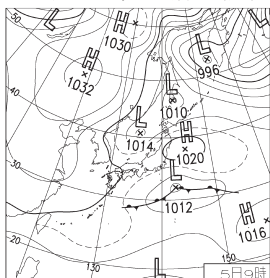
12日(木) 春の予感

気圧の谷は日本の東海上に抜け北日本の一部で始め雨や雪が残った。その後は広く高気圧に覆われ晴天。最高気温は広い範囲で4月上旬から中旬並みの暖かさ。



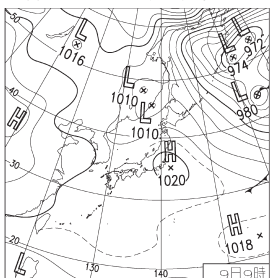
1日(日) 太平洋の沿岸は大時化

低気圧は日本の東海上で発達し冬型の気圧配置が強まる。全国的に北または北西の風強く、東北～関東の海上では大しけ。天気は日本海側で曇りや雪または雨、太平洋側は晴れ。



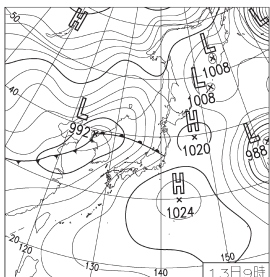
5日(木) 西から天気は下り坂

三陸沖の高気圧の南縁にあたる関東で曇った他は、高気圧に覆われておおむね晴れ。低気圧や気圧の谷が接近した北日本や北陸、西日本は次第に曇りとなり雨や雪の所も。



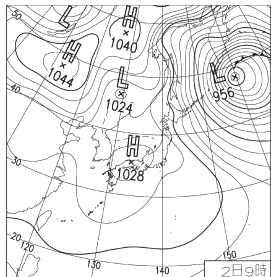
9日(月) 浅間山再び噴火

北日本は低気圧の影響で所々雪や雨。高気圧は東進して日本の東海上へ、西日本は曇りから雨に。関東以外は全国的に暖かく2月中旬～3月中旬並。南大東島でヒカンザクラ満開。



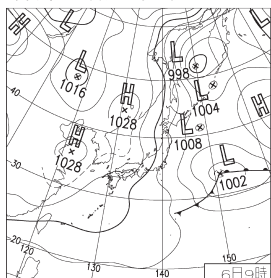
13日(金) 全国各地で「春一番」

日本海の低気圧が発達・東進。全国的に暖かな南風が強く吹き込み、気温急上昇。九州、四国などで大雨や暴風。熊本県南阿蘇村で最大瞬間風速35.8 m/s。



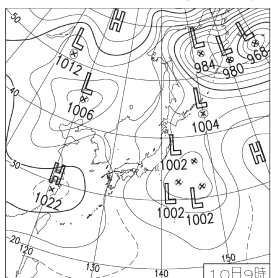
2日(月) 浅間山で小噴火

北日本の一部で雪が降った他は、広い範囲で移動性高気圧に覆われ晴れや曇り。群馬県と長野県境にある浅間山が01時51分頃小規模な噴火。関東南部でも降灰を観測。



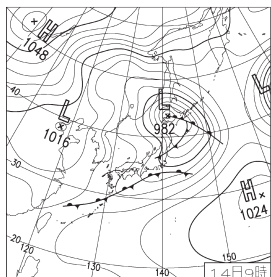
6日(金) 西日本では春の兆し

東日本～北日本を中心の冬型の気圧配置となり、北陸～北日本の日本海側では弱い雪。一方、東日本～西日本ではよく晴れ、特に九州では3月下旬の気温となった所が多かった。



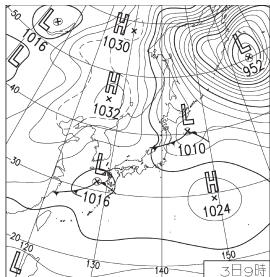
10日(火) 京都市 ウメ開花

日本海を気圧の谷が南下。午前中を中心に北～西日本の日本海側は雪や雨。太平洋側は概ね晴れて気温上昇し、最高気温は多くの地点で3月中旬並となり、4月上旬並の所も。



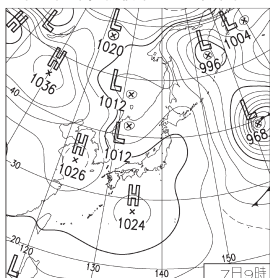
14日(土) 関東・東海で夏日

発達中の低気圧が北海道を通過。この影響で北日本は大荒れの天気。本州太平洋側は概ね晴れ。全国的に気温が高く、静岡県静岡市清水区での最高気温26.8℃は7月上旬並の暑さ。



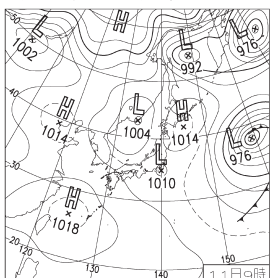
3日(火) 網走 流水初日

東シナ海の低気圧が東進。九州で降り出した雨は、西日本一帯に広がる。北陸は前線の影響で雪や雨、晴れた東日本太平洋側は、最高気温が13～15℃台。水戸市、前橋市でウメ開花。



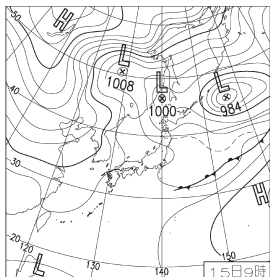
7日(土) 日本海低気圧東進

低気圧が日本海を東進し、北日本から北陸にかけては雨。秋田県では竜巻被害。西日本から東日本は南海上の高気圧に覆われ全般に南風。最高気温は3月並みで暖か。



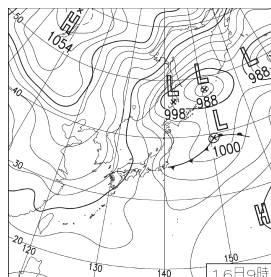
11日(水) 今年初めての黄砂

日本付近は気圧の谷の通過と上空の寒気の影響で、北陸地方で雷雨となり金沢で雹を観測。関東は雪や雨。近畿から九州に向け西日本の広い範囲で、今年初めての黄砂を観測。



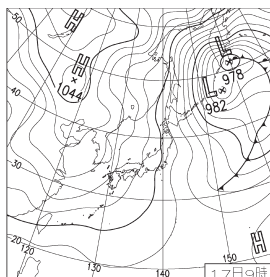
15日(日) 山陰～福井で黄砂観測

気圧の谷が通過し、北日本～北陸は雪や雨、引き続き全国的に気温高く、最高気温は3～4月並。中でも八丈島の21.9℃は5月上旬並で、2月の観測史上1位を更新。



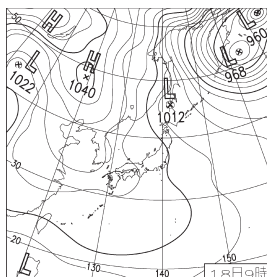
16日(月)強い寒気来襲

低気圧が千島近海で発達し、冬型の気圧配置が次第に強まった。北陸～北日本には強い寒気が入って昼過ぎから雪となり、新潟県では所により日降雪量が50cmを超えた。



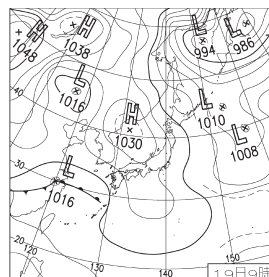
17日(火)久しぶりの大雪

全国的に強い冬型の気圧配置で北海道と本州の日本海側では雪で雷を伴う所も。特に山形県と新潟県は24時間の降雪量が50cmを超える大雪となった。



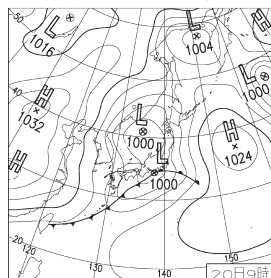
18日(水)高知市でウグイス初鳴

北海道稚内市上空5500mは-44.1℃。冬型の気圧配置は崩れたが、北日本や北陸は寒気の影響が残る雪や吹雪。新潟県魚沼市入広瀬で日降雪量53cm、西日本は寒さや和らぐ。



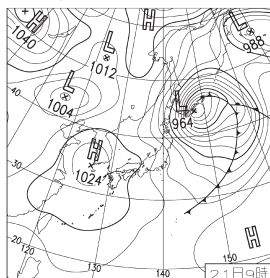
19日(木)網走市で流水接岸初日

北日本では寒気が残る、日本海側は雪や曇り。東日本は概ね晴れ。華中に低気圧があって東進、この影響で九州は朝から雨で、夜には東海地方まで広がり山沿いは雪に変わる。



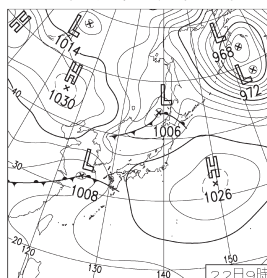
20日(金)北日本 暴風雪に

低気圧が本州南岸を通過して三陸沖で発達、北日本は暴風を伴う雪や雨。西～東日本太平洋側は雨のち晴れ。北陸～山陰は雨のち雪。午後九州北部～中国地方で黄砂を観測。



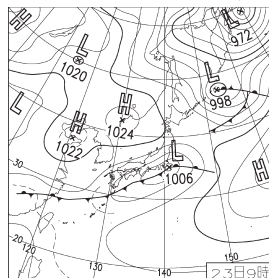
21日(土)東京で黄砂観測

低気圧が千島近海で猛烈に発達し、北海道釧路町では41.1m/s、青森県野辺地町では33.7m/sの最大瞬間風速。青森県では100棟以上の家屋が一部損壊し、約5万世帯が停電した。



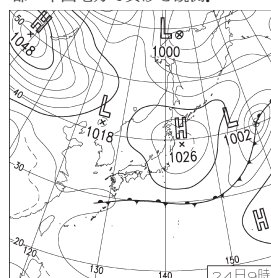
22日(日)気圧の谷の接近

北日本と西日本に前線を伴った低気圧が接近。東海から関東では晴れて南風が吹き、最高気温が15℃を越えた所もあったが、その他は曇りで所々雨や雪。



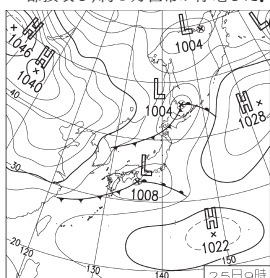
23日(月)室戸岬で激しい雨

本州南岸を低気圧東進。雨の範囲は西日本から東日本へ移る。高知県室戸市で44.5mm/h、北海道や東北北部は晴れ。最高気温は関東以北で平年より低く、西日本は日射戻り暖か。



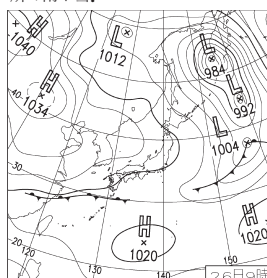
24日(火)新潟県出雲崎町震度4

本州南海上に前線が停滞。北海道の一部は雪、東北以南では雨や曇。南西諸島は暖かい南風で最高気温が27℃前後で4月中旬から5月下旬並に。熊本市でモンシロチョウ初見。



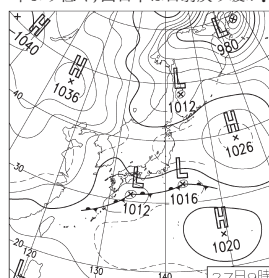
25日(水)本州上空は雲の通り道

本州南岸の前線上を低気圧が東進。西～東日本は雨で西から次第に止む。前線の南側の南西諸島は引き続き高温。オホーツク海の低気圧からのびる前線が北日本を通過して雪や雨。



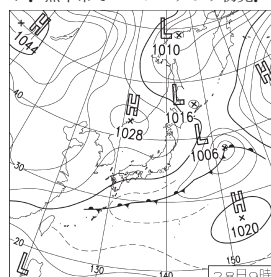
26日(木)那覇最高気温2月1位

全国的に雲の多い天気、東京では日照無し4日目。前線の活発化により、夜は九州南部、四国や関東南部で雨となった。沖縄は今日も気温高く、最高気温は那覇で2月1位。



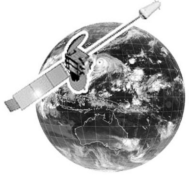
27日(金)ぐずついた天気続く

本州の南海上に前線を伴った低気圧が東北東進。北日本の一部で晴れた他は全国的に曇りや雨で雪が降った所も。日中の気温は関東東地方を中心に真冬並みとなった。



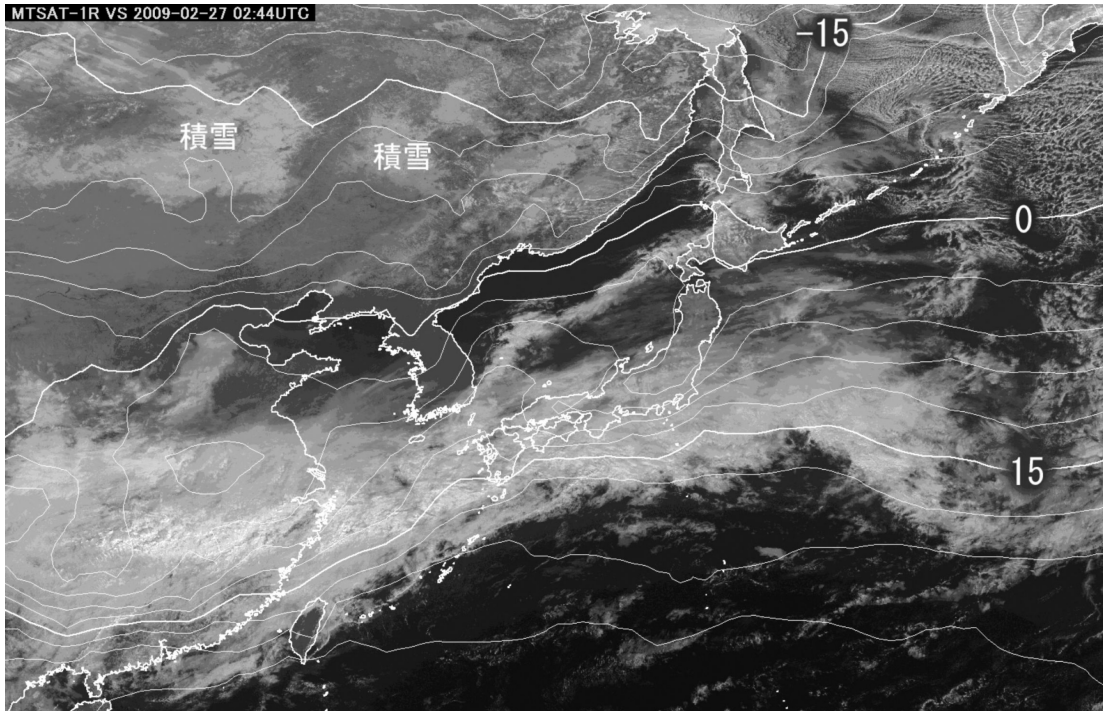
28日(土)寒さ、暑さから解放

移動性高気圧に覆われ、西日本太平洋側と南西諸島を除き概ね晴れ。東京は、6日ぶりに日射しが戻り寒さや和らぐ。連日高温の南西諸島は、最高気温が20～24℃台に落ち着く。



今月のひまわり画像—2009年2月

夏と冬を分ける雲バンド



2009年2月27日12時の可視画像 実線はGSM(27日09時初期値)による地上等温線(°C)

2月は日本付近を低気圧が周期的に通過し、天気も数日の周期で変化することが多かった。また、全国的に月平均気温が高く、特に東日本以西で顕著で沖縄・奄美などの12地点で月平均気温の最高値を更新した。下旬には前線が日本の南岸に停滞し、まるで「菜種梅雨」を彷彿させるような気圧配置が続いた。「菜種梅雨」とは菜種(アブラナ)の花の咲く3~4月にかけて降る長雨をいい高気圧が関東地方や西日本より北に偏って張り出すいわゆる北高型の気圧配置のときにみられ、本州南岸に前線が数日間停滞することが多い。

上の図は2月27日12時(日本時間)の可視画像と09時初期値のGSMの地上等温線を重ね合わせたものである。華中・華南から日本の東にかけて、停滞前線に相当する帯状の雲域(雲バンド)が見える。雲バンド

は、大陸の寒冷なシベリア高気圧及び三陸のはるか東海上に中心をもつ高気圧と日本の南の温暖な太平洋高気圧の間に形成されており、それぞれの高気圧圏内は概ね晴れている(モンゴルと中国東北区に白く見えているのは積雪である)。

日本付近の雲バンド中には3°C間隔の等温線が4~6本通っており、雲バンドの北側と南側では12~18°C程度の気温差がある。12時の実況では東京の気温は2.2°C、天気は雪と真冬並みの天候であったが、雲バンドの南に位置する那覇では晴れて24.7°Cで、日最高気温は26.1°Cの夏日となった。この日、東京から那覇に飛行機で移動した人はまさに「春を飛び越した」という印象を受けたであろう。

(気象庁予報部予報課 小池仁治)